

● 今年も8月がやってきました。いつもと変わりなく日常の診療に謀殺されていても、なぜか8月が特別な月のように感じてしまうのは小学校のころの夏休みの印象が強いからでしょうか。さて、広報委員会には対外広報と対内広報があり、会員向けの広報が対内広報です。会報誌の編集は対内広報の中心的な活動となります。今月号も暑さにまさる熱い編集会議が進められて完成しました。

● 今月号の表紙には藤川栄吉先生から頂いた作品の中から8月に相応しい一枚が選ばれました。報告では重要課題が並びました。九医連総会では横倉日本医師会長が中央情勢報告をされています。1. 国民皆保険の堅持と社会保障制度改革国民会議について、2. 控除対象外消費税については診療報酬で手当てをするのか償還払いなのか、3. 健診の体系化と平均寿命と健康寿命の8年の開きについて、4. 医療事故調査制度の創設については警察を介入させないためにどうするのか、5. TPPについては聖域なき関税撤廃が前提である限り交渉参加に反対するとしています。沖縄県・沖縄県医師会連絡会議では1. 在宅医療への県の対応、2. 小児救急医療電話相談# 8000の継続について、3. 琉大病院の再整備計画における全面建替えに関する国の財政支援について、4. 第二期沖縄県医療費適正化計画についての報告がされています。そして大盛況であった第116回沖縄県医師会医学会と県民公開講座の様子が報告されています。今回のマスコミ懇談会のテーマはドラマ「純と愛」で社会化した若年性認知症についてです。懇談会の様子からも関心の高さが伺えます。生涯教育は睥睨です。最も予後不良の癌ですが、最近の外科治療の観点から解説されています。プライマリ・ケアコーナーは内科診療や総合診療の中でも多く接する機会がある高血圧と家庭血圧の

解説です。インタビューコーナーは琉球大学医学部長に就任された松下正之先生です。医学部改革、新病院構想など琉大医学部の将来ビジョンについてお話し頂きました。さて、8月号の楽しみと言えば緑陰隨筆です。今年も話題が豊富です。ホォー、ヘェー、なるほどと感心したり、そうだと共感したり、エッと驚いたり、ジーンと感動したり、ほのぼのと心が暖かくなったり、思わずニヤリと笑ってしまうような名作揃いです。日常診療の合間にオアシスへお立ち寄り下さい。

● アベノミクスの「3本の矢」の3番手である成長戦略の一つは医療です。「診療情報は宝の山」発言が話題になりましたが、規制改革に重点をおき「日本版NIHを創設」「先進医療審査の期間半減」「健康長寿ビジネスを民間主導で」「医薬品のネット販売解禁」、さらに「疾病治療中心の保険制度を見直し」「外国人医師も日本で医療できる制度」などに意欲的です。そしてTPPです。聖域なき関税撤廃の行方は如何に、本誌が皆様のお手元に届く頃には参院選も終わり、いよいよ社会保障も制度改革へ向けて大きく動き出すのではないのでしょうか。自民党は国民皆保険制度について前回の衆院選公約では「守る」としていましたが、今回の参院選では「堅持」としました。また、「混合診療」の全面解禁に対して政府は「保険外併用療養費制度」の対象拡大で対応する事としていますが、規制改革会議で「混合診療」の全面解禁の議論がいつ再燃するかわかりません。皆保険が堅持されても怪保険にならないか、国民が酷民にならないかと心配になってきます。今年は「九州は一つ」を合い言葉に県内で九州医師連合会の諸行事が開催されます。熱い夏が続くそうです。

広報委員 出口 宝